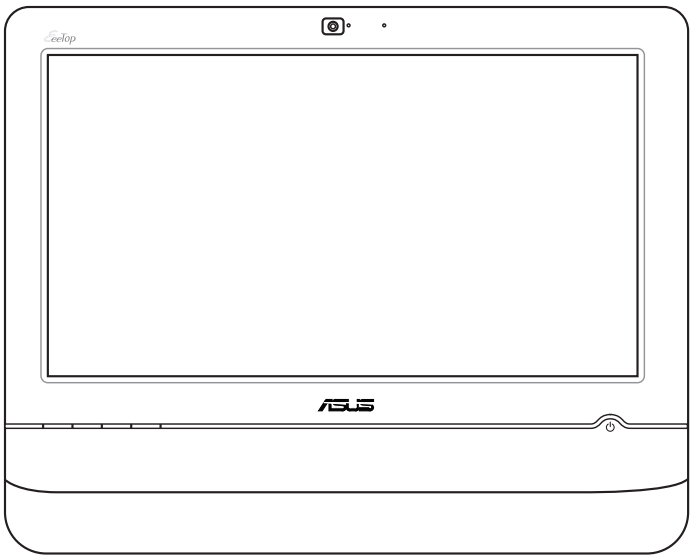
日本語

EeeTop PC

ユーザーマニュアル



ET20シリーズ

日本語

J5166
第２版　第１刷
2009年11月

Copyright © 2009 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc.（ASUS）の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本マニュアルの記載内容には万全を期しておりますが、その内容を完全に保証するものではなく、記載内容は予告なしに変更することがあります。

もくじ

もくじ 3
ご注意 5
このマニュアルの表記について 11
安全上の注意事項 12
ようこそ 13
パッケージの内容 13
お使いのEeeTop PCについて 14
前面 14
背面 17
側面 19
タッチ画面を使う 20
タッチポインターを表示する 20
タッチ画面の手入れをする 21
キーボードを使う 22
Function キー 23
EeeTop PCの位置を決める 24
デスク上に置く 24
EeeTop PCをセットアップする 25
有線キーボードとマウスを接続する 25
無線キーボードとマウスを接続する 25
システム電源を入れる 26
電源を切る 26
スクリーンのキャリブレーションを行う 27
無線接続を構築する 28
無線接続を構築する 29
静的 IP（スタティックIP）を使用する 29
動的 IP（ダイナミックIP）を使用する 31
オーディオ出力を設定する 35
スピーカーを設定する 35
スピーカーに接続する 35
オーディオ出力設定を行う 36

システムをリカバリーする 37
サポートDVDを使用する 37
隠しパーティションを使用する 39

ご注意

Federal Communications Commission Statement（原文）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

注意:本デバイスの提供者が書面により承認していない変更または改定をすると、本装置のユーザー操作権が無効になることがあります。

RF発生障害警告

本装置は、所定の指示にしたがって据え付け、および操作してください。このトランスミッタ用のアンテナは、すべての人から少なくとも20cm以上距離があくように、据え付けてください。また、他のアンテナやトランスミッターをあわせて据え付けたり、操作したりしないでください。エンドユーザーおよび据付者は、RF発生障害法令基準に適合するように、アンテナ設置説明書およびトランスミッタ操作条件を提示しなければなりません。

Canadian Department of Communications Statement（原文）

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada（原文）

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity（R&TTE directive 1999/5/EC）(原文)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Mark Warning（原文）

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

CE

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

CE !

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains（原文）

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands(原文)

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes	
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme	32 Gers	36 Indre
37 Indre et Loire	41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche	55 Meuse
58 Nièvre	59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales			67 Bas Rhin
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire		75 Paris
82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse		88 Vosges	89 Yonne
90 Territoire de Belfort	94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

分解禁止

ASUS以外の第三者が本製品を分解した場合、保証サービスは無効となります。

レーザー製品

クラス 1 レーザー製品

液体のかかる場所での使用禁止

液体、雨、水分、油分がかかる恐れのある場所で使用しないでください。
本製品には防水加工は施されていません。

左のマークは、本製品が電気製品または電子装置であり、水銀を含むボタン電池を使用しており、地域のゴミと一緒に捨てられないことを示すマークです。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則等に従って下さい。

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at http://green.asus.com/english/REACH.htm.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950：2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年８月１日より適用されます。

この規格に関する詳細情報は巻末の表、またはASUSのサイト（http://green.asus.com/english/）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

コンテンツは全て英語表記です。

このマニュアルの表記について

所定タスクが適切に実行できるように、本マニュアル記載の次の記号に注意してください。

警告:本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。

重要:タスクを完了するために必ず行わなければならない事項です。

ヒント: **作業**を完了するのに必要なヒントおよびお役立ち情報です。

注記: **特殊**なケースに関する追加情報です。

このマニュアルに記載のイラストやスクリーンショットはすべて参照用です。実際の製品仕様やソフトウェア画像は、地域によって異なることがあります。最新の情報については、ASUSのWeb サイト（http://www.asus.co.jp）をご覧ください。

安全上の注意事項

本機はITの最新安全規格を満たすよう設計されており、それら基準を満たすことが実証されていますが、より安全にお使いいただくため、ご使用の前には以下の安全に関する注意事項をよくお読みください。

システムをセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示を熟読し、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 設置する際は安定した水平面に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 動作可能な温度環境は周囲温度 0℃～ 40℃の間です。
- 延長コードを使用する際は、接続した全てのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

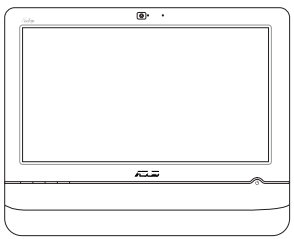
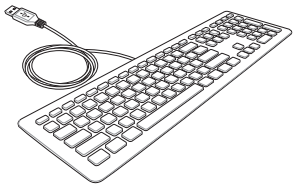
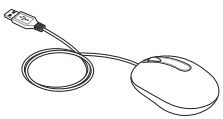
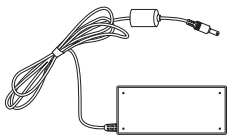
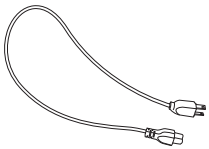
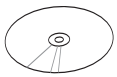
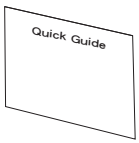
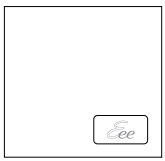
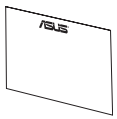
使用上の注意点

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- システムに液体がかからないようにしてください。
- システムの電源がOFFのときも、微量の電流が流れています。システムのお手入れをする際は、必ず電源ケーブル、モデムケーブル、ネットワークケーブル等のケーブルを全て本体から抜いてください。
- タッチ画面のタッチ感度が落ちないようにするには、タッチ画面は定期的な手入れが必要です。画面は、異物や埃がたまらないように清潔にしておきます。
  画面を手入れするには：
  - システム電源を切り、電源コードを外します。
  - 所定のクリーニングクロスの上に、家庭用ガラスクリーナーを少量吹きかけ、画面の表面をやさしく拭き取ります。
  - 画面にクリーナーを直接、吹きかけないでください。
  - 画面の手入れ時は、摩擦クリーナーや目の粗い布を使用しないでください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、サポートセンターにご相談ください。
  - 電源コード/プラグが破損している。
  - システム内部に液体が入った。
  - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
  - システムが落下した、またはキャビネットが破損した。
  - システムのパフォーマンスに異変が生じた。

ようこそ

EeeTop PC ET20シリーズをご購入いただき、ありがとうございます。セットアップを始める前に、パッケージの内容を確認してください。不足や破損等の問題がある場合は、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

パッケージの内容

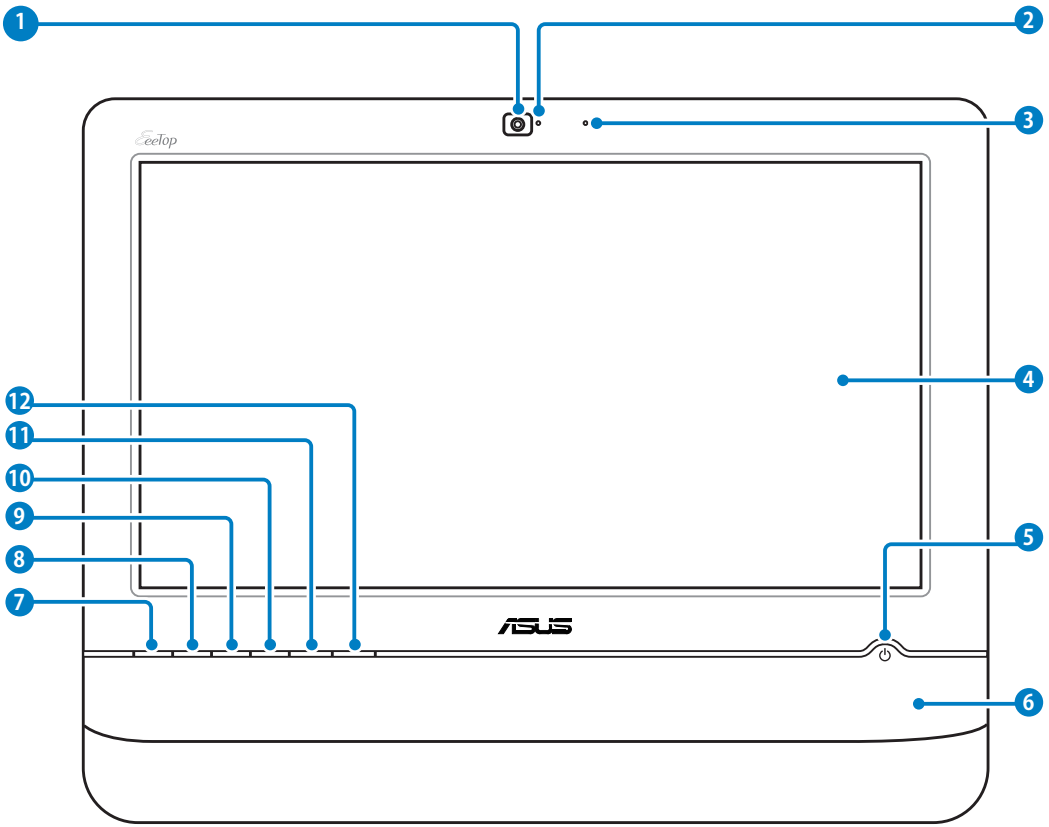
		
EeeTop PC ET20 シリーズ	**キーボード（有線または無線）**	**マウス（有線または無線）**
		
ACアダプター	**電源コード**	**サポートDVD**
		
クイックスタートガイド	**クリーニングクロス**	**製品保証書**

注意：

1. **ディスクの数と内容はお買い上げの地域により異なる場合があります。**
2. **本マニュアルに記載のイラストは参考用です。実際の外観や仕様はお買い上げの地域により異なる場合があります。**

お使いのEeeTop PCについて

前面



1 **ウェブカム**
内蔵デジタルマイクおよび内蔵ウェブカムを使うと、オンラインでビデオチャットができます。

2 **ウェブカムLED**
内蔵ウェブカムが有効になっていることを示します。

❸ デジタルマイク（内蔵型）

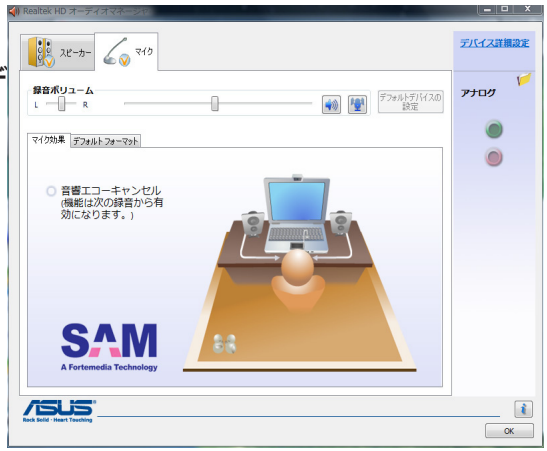
ビデオ会議や音声ナレーション、録音やマルチメディアアプリケーション等にご使用ください。

内蔵ウェブカムとマイクは、次の方法で有効にすることができます:

- デスクトップから**Eee Cam** アプリケーションを起動します。詳細は、ソフトウェアマニュアルを参照してください。
- **Windows® Live Messenger** または **Skype™**でビデオチャットを開始します。

Realtek HD オーディオマネージャでマイクのパフォーマンスを最適化することができます:

1. タスクバーの通知領域の アイコンをダブルクリックし、「**Realtek HD オーディオマネージャ**」を開きます。
2. 「**マイク**」タブをクリックし、「**音響エコーキャンセル**」をクリックしマイクのパフォーマンスを調節します。
3. 設定が終了したら「**OK**」をクリックします。



❹ LCDディスプレイ

この20インチLCDディスプレイは、最適解像度 1600×900で、指で触れるだけでデジタルライフが楽しめるタッチ機能付きです。

❺ 電源ボタン

電源スイッチで、システム電源をON/OFFにします。

❻ **ステレオスピーカー**

内蔵型ステレオスピーカーでハイクオリティオーディオ出力をお楽しみください。

❼ **「−」ボタン**

メニュー画面を下にスクロールする際にも使用します。

❽ **メニューボタン**

このボタンを押すとメニューが表示されます。

❾ **「＋」ボタン**

このボタンを押すとディスプレイの輝度を直接変更することができます。また、メニュー画面を上にスクロールする際にも使用します。

❿ **ホームボタン**

Windows デスクトップとアプリケーションの表示を切り替えます。「デスクトップの表示」と同じ機能です。

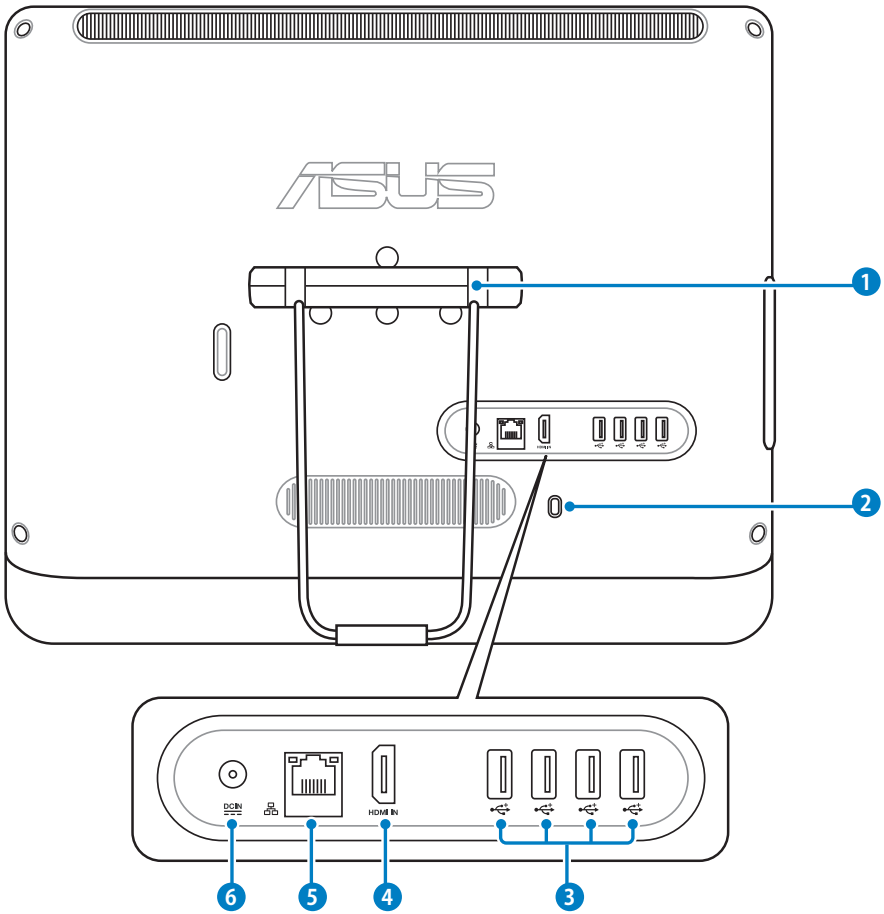
⓫ **ハードディスクドライブLED**

ハードディスクドライブの動作状態を示します。

⓬ **ワイヤレスLAN LED**

内部ワイヤレスLANが有効になっていることを示します。（ワイヤレスLANを使うには、Windows® ソフトウェア設定が必要です）

背面



❶ **スタンド**

角度調整が可能なスタンドです。

❷ **Kensington® ロックポート**

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体から本機を取り外せないようにしてあります。

❸ **USBポート**

USBポートは、キーボード、マウスデバイス、カメラやハードディスクドライブ等のUSBデバイスとの互換性があります。

4 HDMI 入力ポート

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は非圧縮型オールデジタルオーディオ/ビデオインターフェースです。セットトップボックスやDVDプレーヤー、A/Vレシーバーなどのオーディオ/ビデオソースに対応しています。

5 LANポート

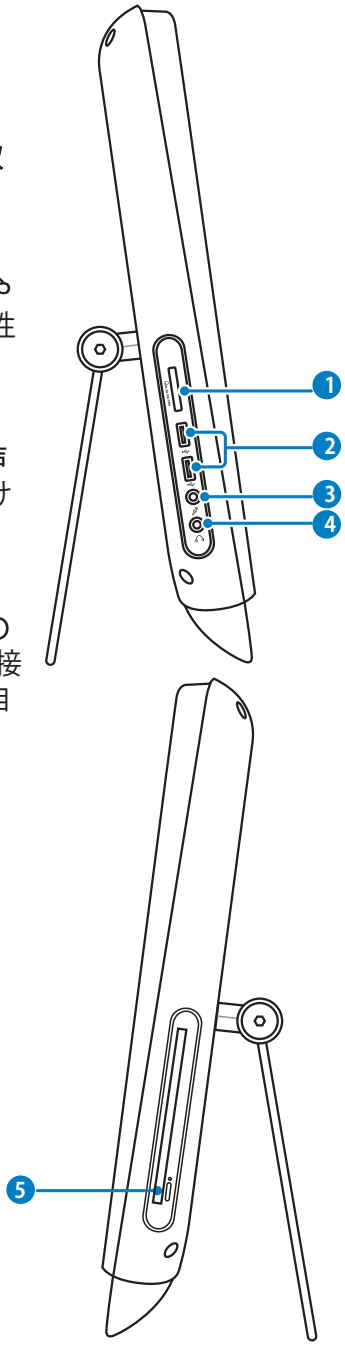
8ピンRJ-45 LANポートは標準イーサネットケーブルに対応し、LANに接続することができます。

6 電源入力（DC 19V）

このジャックに付属のACアダプターを接続します。ACアダプターはAC電源をDC電源に変換し、本機に電力を供給します。本機の故障を防ぐため、常に付属のACアダプターを使用するようにしてください。

アダプターは使用中高温になることがあります。身体に密着させて使用しないでください。火傷の原因になります。

側面



1 **メモリーカードリーダー**

内蔵メモリーカードリーダーは、デジタルカメラやMP3 プレーヤー、携帯電話、PDAなどの装置で使用されるMMC/SD/SD HC/MS/MS Proカードを読み取ることができます。

2 **USBポート**

USBポートは、キーボード、マウスデバイス、カメラやハードディスクドライブ等のUSBデバイスとの互換性があります。

3 **マイクジャック**

マイクジャックはマイクを接続し、ビデオ会議や音声ナレーションまたは簡単な録音等にご使用いただけます。

4 **ヘッドホン／オーディオ出力ジャック**

ステレオヘッドホンジャック（3.5mm）は、システムのオーディオをアンプスピーカーまたはヘッドホンを接続します。このジャック使用時は内蔵スピーカーは自動的に無効になります。

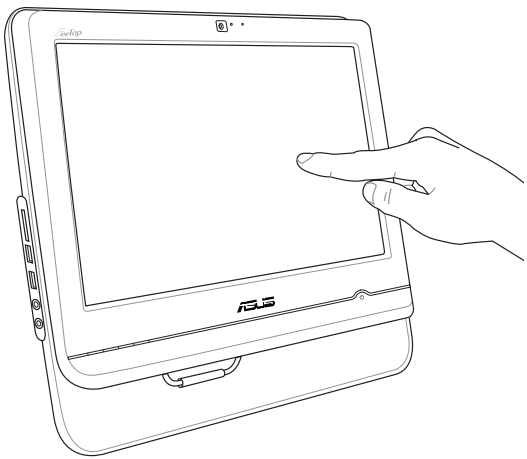
5 **光学ドライブ**

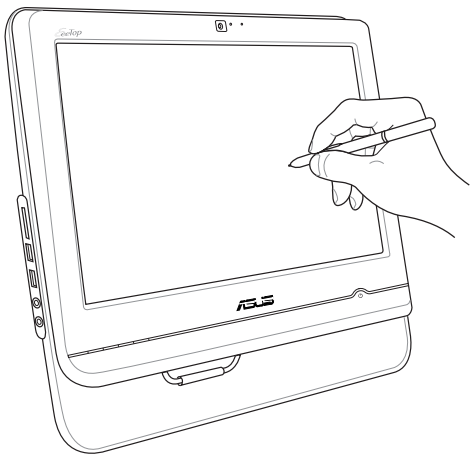
搭載されている光学ドライブは本体内蔵型です。光学ドライブには、CD・DVDをサポートするものや、Recordable (R) または、Re-Writable (RW) をサポートするものがあります。光学ドライブがサポートするメディアはモデルにより異なります。

タッチ画面を使う

EeeTop PCは、指で触れるだけでデジタルライフが楽しめます。指でタッチするか、スタイラスペンを使って、本機を思いどおりに使いこなすことができます。タッチすることで、マウスデバイスのような機能が利用可能です。

- タッチ＝マウスの左クリック
- ３秒以上画面をタッチしたまま＝マウスの右クリック



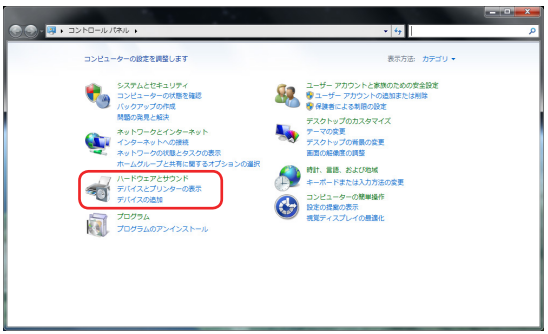


- タッチ機能は特定モデルのみのサポートとなります。
- スタイラス機能はタッチ機能をサポートする特定モデルのみのサポートとなります。

タッチポインターを表示する

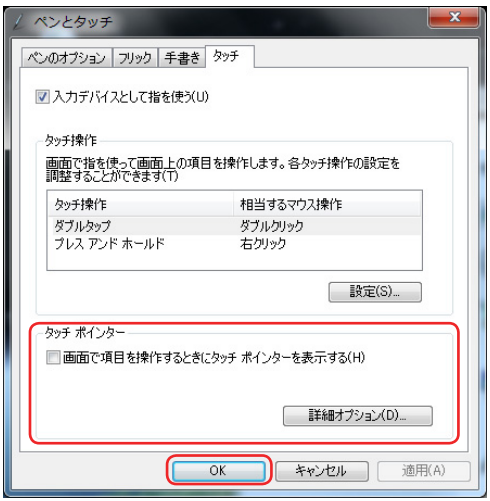
タッチポインターはバーチャルマウスで、タッチ機能がさらに便利にご利用いただけます。次の手順でポインターを表示させることが可能です。

1. Windows® デスクトップから「**スタート**」→「**コントロールパネル**」→「**ハードウェアとサウンド**」の順にクリックします。



2. 「**タッチ入力設定の変更**」をクリックします。

3. 「**タッチ**」タブをクリックし、「**画面で項目を操作するときにタッチポインターを表示する**」のボックスにチェックを入れます。続いて「**OK**」をクリックすれば、設定完了です。



4. 画面に触れると、バーチャルマウスが画面上に表示されます。

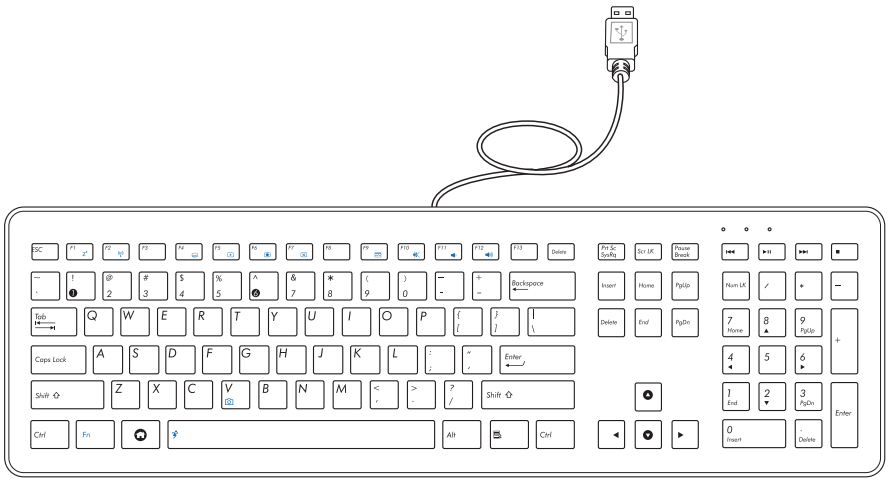
タッチ画面の手入れをする

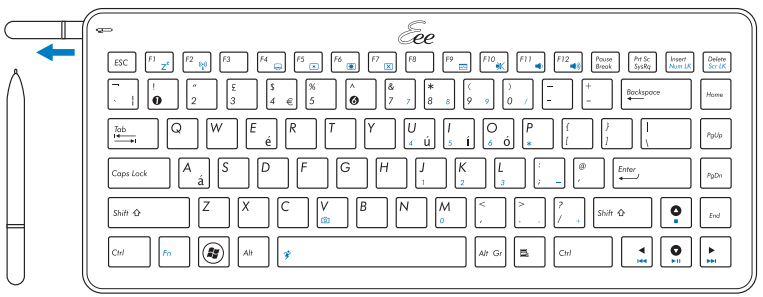
- タッチ画面のタッチ感度が落ちないよう、定期的なお手入れが必要です。画面は、異物や埃がたまらないように常に清潔に保ってください。
  お手入れの手順:
  - システム電源を切り、電源コードを外します。
  - 所定のクリーニングクロスの上に、家庭用ガラスクリーナーを少量吹きかけ、画面の表面をやさしく拭き取ります。
  - 画面にクリーナーを直接、吹きかけないでください。
  - 画面の手入れの際は、摩擦クリーナーや目の粗い布を使用しないでください。

キーボードを使う

本機には、システムをコントロールするキーボードまたはワイヤレスキーボードが付いています。特定モデルでは左側にスタイラスペンが収納されています。スタイラスペンは押すと、出てきます。

- 下記のキーボードのイラストは、参考です。実際の製品仕様は地域によって異なることがあります。
- スタイラス機能はタッチ機能をサポートする特定モデルのみのサポートとなります。





Function キー

コマンドが表記されたキーについて説明します。コマンドは、Function キー<Fn>を押しながら、コマンドが表記されているキーを押して実行します。

注：<Fn>キーの内容とコマンドの内容はモデルによって異なります。

Fn + F1：システムが一時停止モードになります。

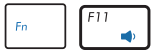
Fn + F2：内部ワイヤレスLANをONまたはOFFにします。ワイヤレスLANが有効になると、対応するワイヤレスLAN LEDが点灯します。ワイヤレスLANを使うには、Windows® ソフトウェア設定が必要です。

Fn + F5：ディスプレイの輝度を下げます。

Fn + F6：ディスプレイの輝度を上げます。

Fn + F7：LCDディスプレイのON／OFFを切り替えます。

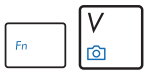
Fn + F10：スピーカーのON／OFFを切り替えます。（Windows® 環境のみ）



Fn + F11：スピーカー音量を下げます。（Windows 環境のみ）

Fn + F12：スピーカー音量を上げます。（Windows 環境のみ）

Fn + スペース（スーパーハイブリッドエンジンキー）：各種省電力モードの切り替えを行います。選択したモードはディスプレイに表示されます。

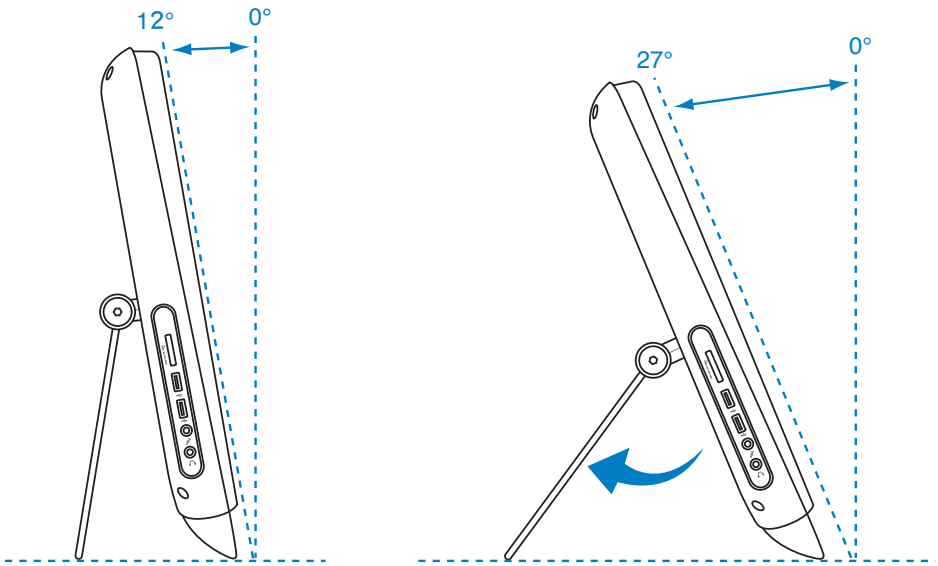


Fn + V：内蔵ウェブカムのON／OFFを切り替えます。

EeeTop PCの位置を決める

デスク上に置く

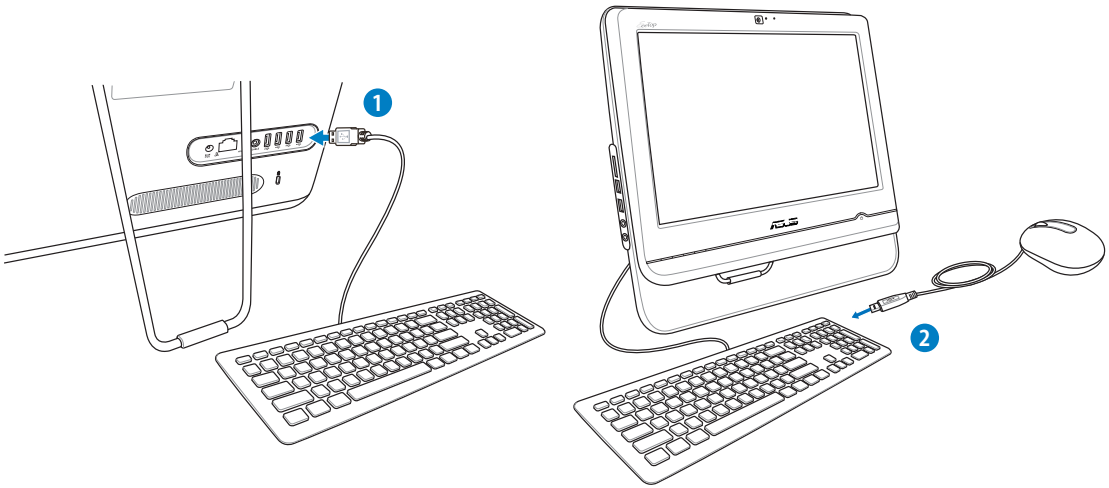
本機をデスク等の安定した平らな場所に設置し、スタンドを引き出します。スタンドは所定の位置まで引き出すとカチッと音がします。続いて、ディスプレイパネルの角度を12～27°の間で調節します。



EeeTop PCをセットアップする

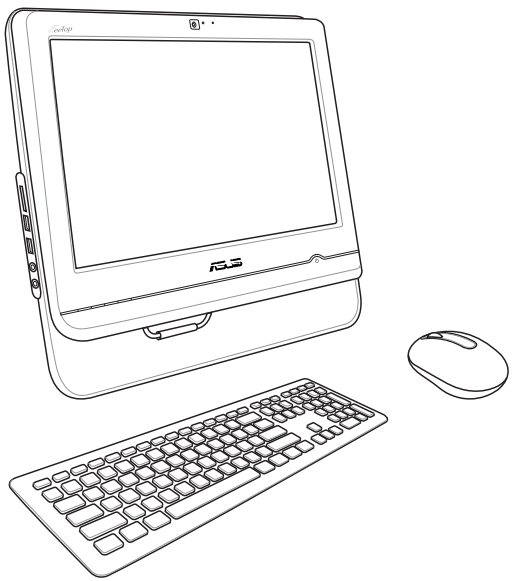
有線キーボードとマウスを接続する

キーボードをバックパネルの**USB**ポート(❶)に接続します。ケーブルの長さが足りない場合は、キーボードを左側の**USB**ポートに接続することもできます。続いてマウスをキーボードの**USB**ポート(❷)に接続します。



無線キーボードとマウスを接続する

1. 無線キーボードとマウスに電池をセットします。
2. キーボードとマウスの裏にあるボタンを押し、EeeTop PCと接続します。
3. 無線キーボードとマウスのセットアップが終了しました。

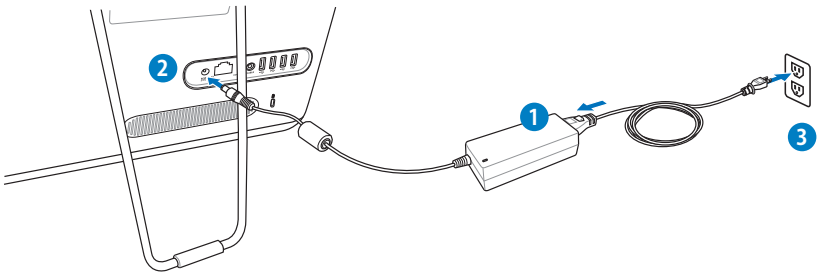


本機は無線キーボードとマウスのための受信機が内蔵されておりますが、同梱以外の無線機器はサポートしておりません。

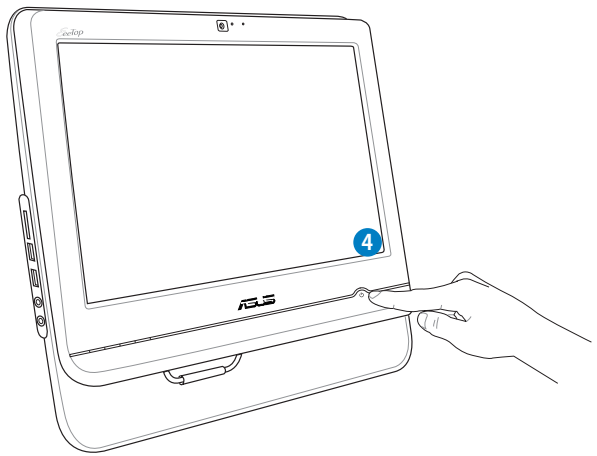
本マニュアルに記載の図は参考用です。キーボードとマウスの実際の外観および仕様(有線／無線)は、地域によって異なることがあります。

システム電源を入れる

付属のACアダプターをバックパネルの**DC入力**ジャックに接続し(❶ ❷ ❸)、フロントパネルの**電源スイッチ**(❹)を押し、電源を入れます。



警告:DCプラグをシステムに接続してから、AC電源コードをACコンセントに接続してください。接続順序を誤ると、AC-DCアダプターの故障の原因となる場合があります。



電源を切る

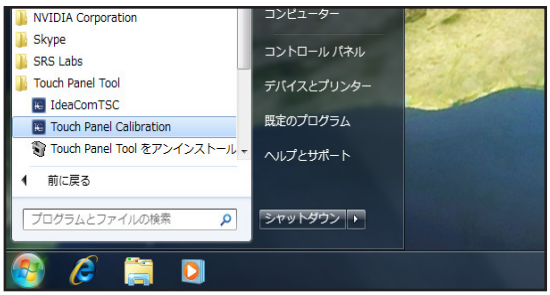
正面パネルの電源スイッチ を押すと、システムがシャットダウンされます。電源スイッチの動作を変更するには、コントロールパネルの電源オプションから変更することが可能です。

スクリーンのキャリブレーションを行う

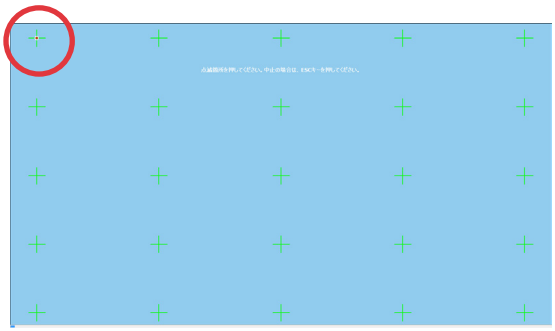
本機にはタッチ画面精度を調整できるツールが付属しています。

タッチ機能は特定モデルのみのサポートとなります。

1. Windows® デスクトップから「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**Touch Panel Tool**」→「**Touch Panel Calibration**」の順にクリックします。



2. 画面上に表示される点滅した箇所を順にタッチし、タッチ画面の調整を行います。

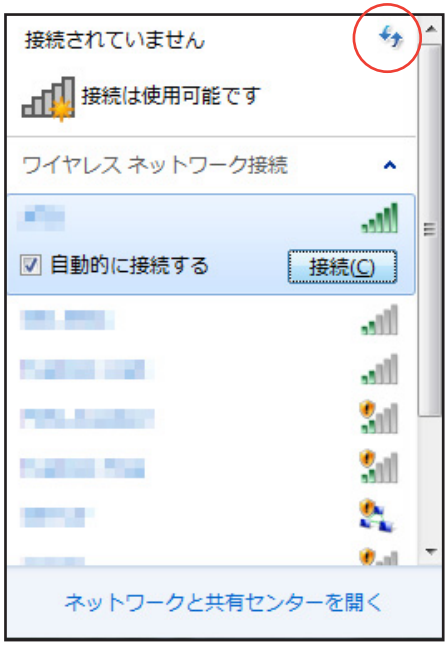


タッチ画面調整中にキーボードの<ESC>を押すと、タッチ画面の調整を終了することができます。

無線接続を構築する

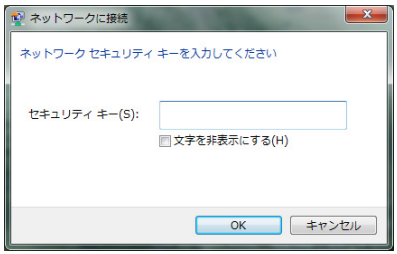
1. タスクバーの通知領域にある無線ネットワークアイコン をクリックします。

2. リストから接続する無線アクセスポイントを選択し、「**接続**」をクリックし、接続します。



アクセスポイントが表示されない場合は、画面右上のアイコン をクリックし、再検索してください。

ネットワークキー設定がされたネットワークでは、接続の過程で、ネットワークキーの入力が必要な場合があります。

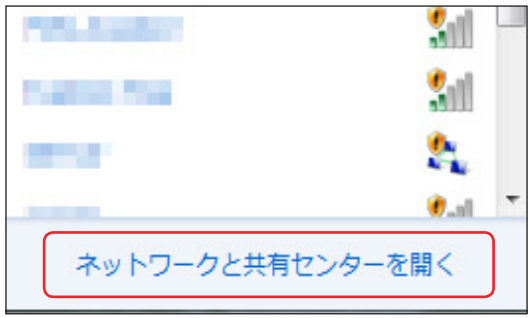


3. 接続が確立すると、その接続名がリストに表示されます。
4. タスクバーの通知領域に無線ネットワークアイコン が表示されます。

無線接続を構築する

静的 IP（スタティックIP）を使用する

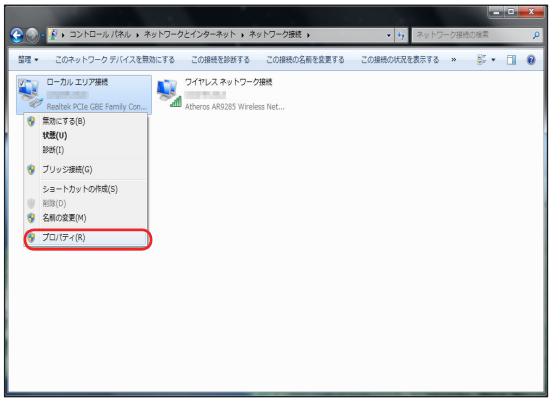
1. タスクバーの通知領域にあるネットワークアイコンをクリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」を選択します。



ネットワークアイコンを右クリックし「**ネットワークと共有センターを開く**」をクリックすることでも同じ操作が行えます。

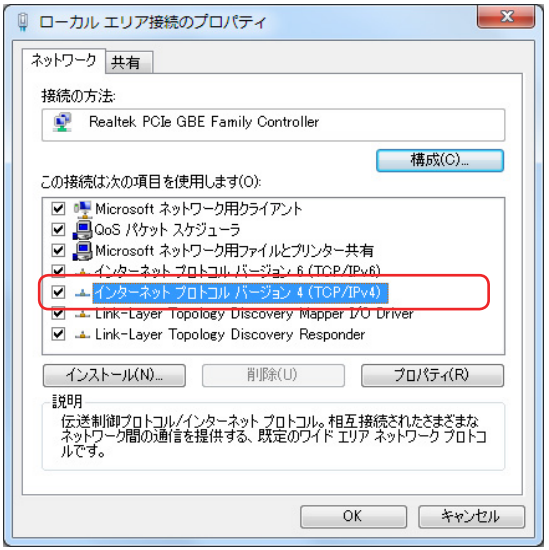
2. 左メニューの「**アダプターの設定の変更**」をクリックします。

3. IPを固定したいネットワークをダブルクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。

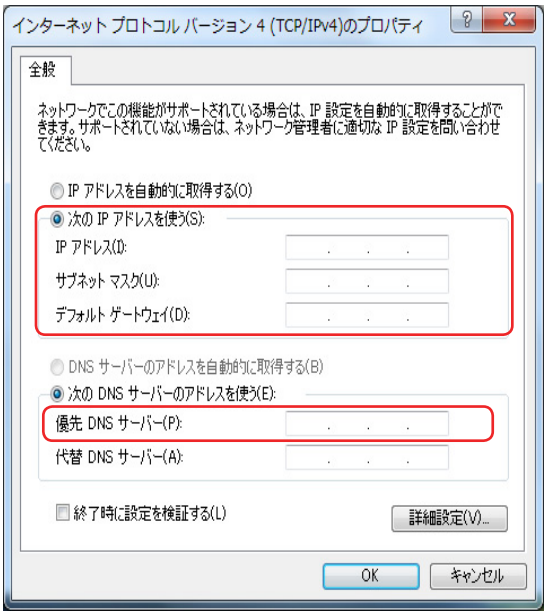


ネットワークアを右クリックし「**プロパティ**」をクリックすることでも同じ操作が行えます。

4. 「**インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)**」をクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。



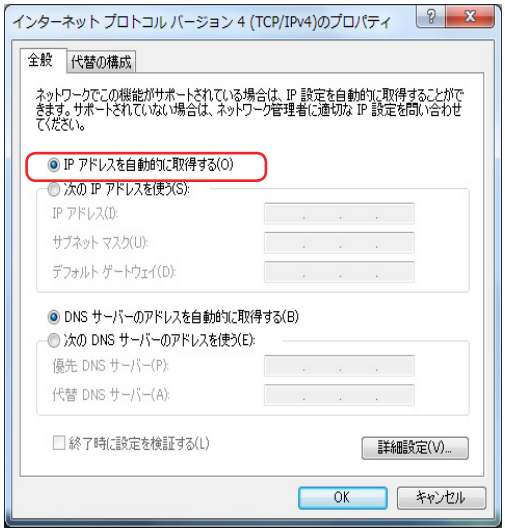
5. 「**次のIPアドレスを使う**」を選択します。
6. 「**IPアドレス**」、「**サブネットマスク**」、「**デフォルトゲートウェイ**」を入力します。
7. 「**優先 DNSサーバー**」を入力します。
8. 全て入力したら「**OK**」をクリックし、設定は完了です。



ネットワークの接続方法についてはご契約のプロバイダによって異なる場合がございます。その場合はネットワーク管理者やプロバイダにお問い合わせ下さい。

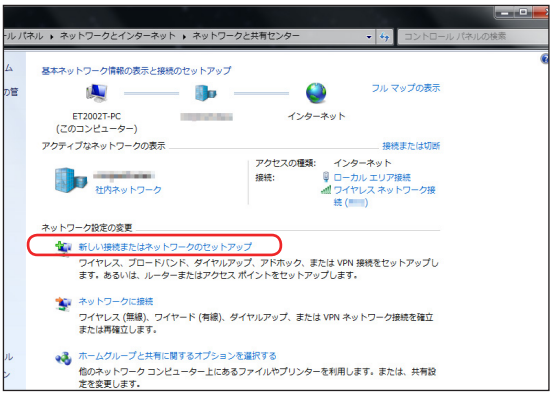
動的 IP（ダイナミックIP）を使用する

1. 動的 IPを使用する場合も、「静的 IPを使用する」の手順 1~3 まで同様の設定を行います。
2 「**IPアドレスを自動的に取得する**」をクリックし、「**OK**」をクリックします。

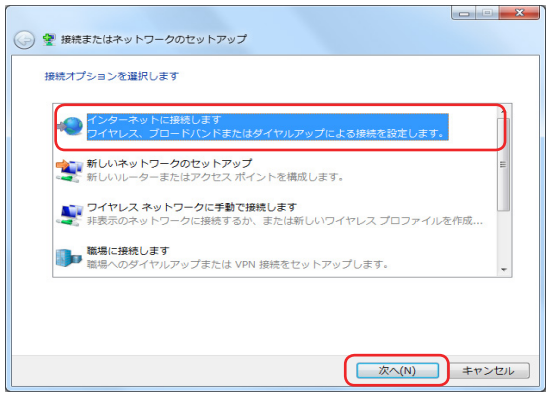


パソコン上にIDやパスワードの設定が必要なプロバイダ様の場合(PPPoE接続)

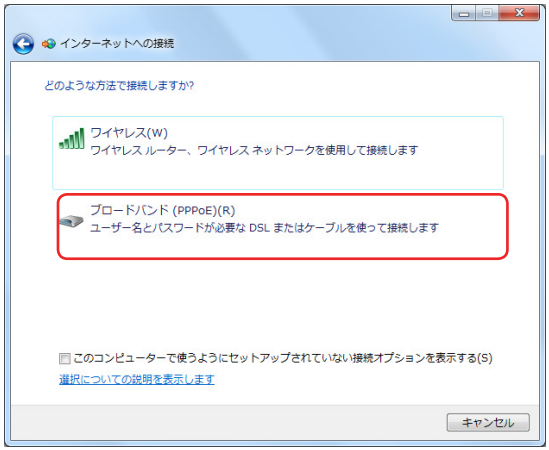
1. 「静的 IPを使用する」の手順 1と同様の手順で「ネットワークと共有センター」を開き、「**新しい接続またはネットワークのセットアップ**」をクリックします。



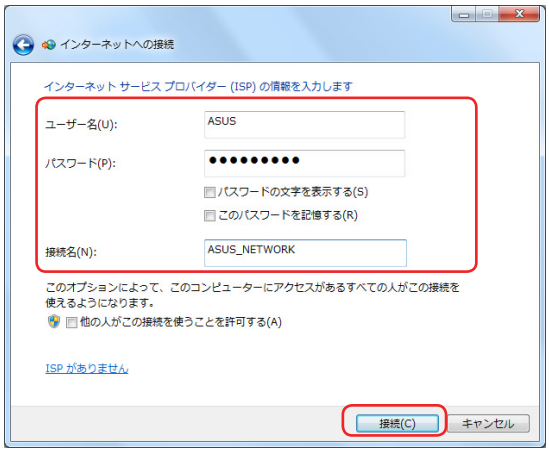
2. 「**インターネットに接続します**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



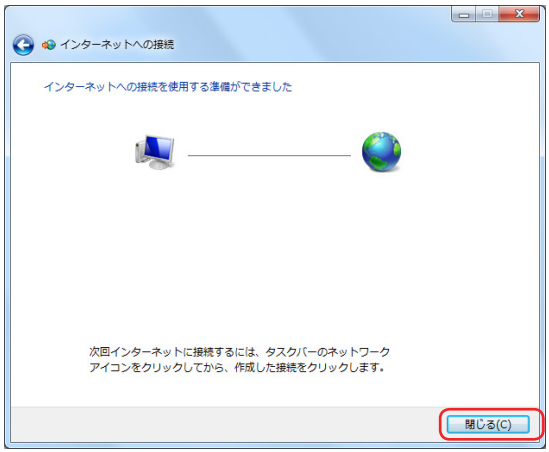
3. 「**ブロードバンド(PPoE)**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



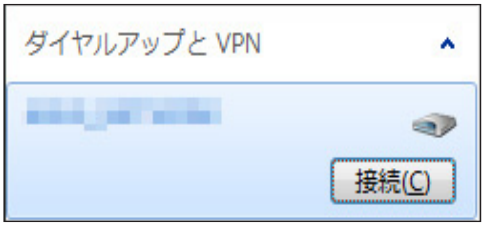
4. ユーザー名とパスワード、接続名を入力し、「**接続**」をクリックします。



5. 接続が成功したら「**閉じる**」をクリックしてください。設定は完了です。



6. タスクバーの通知領域のネットワークアイコンをクリックし、構築したネットワークをクリックします。



7. ユーザー名とパスワードを入力します。「接続」をクリックしインターネットに接続します。

ネットワークの接続方法についてはご契約のプロバイダによって異なる場合がございます。その場合はネットワーク管理者やプロバイダにお問い合わせ下さい。

オーディオ出力を設定する

本製品は各種オーディオ設定をサポートしており、ステレオスピーカーの使用により、オーディオシステムを構築可能です。

スピーカーを設定する

以下のスピーカー設定が可能です。

名称	スピーカーシステム
2チャンネル（ステレオ）	スピーカー（左）、スピーカー（右）

オーディオジャック	ヘッドセット/2チャンネル
	オーディオ出力
	マイク入力

ステレオスピーカーセットは、左右、2チャンネルスピーカーで構成されるシステムです。マルチチャンネルスピーカーには左右フロントスピーカーと左右リア（サラウンド）スピーカーがあります。

スピーカーに接続する

左パネルの各オーディオジャックとその機能に関しては、下表をご参照ください。

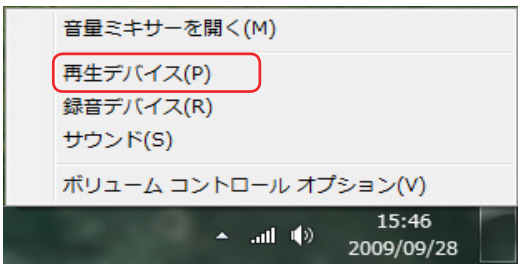
ステレオスピーカーまたはヘッドホン

オーディオジャック	説明
	3.5mm 端子のステレオスピーカーまたはヘッドホンを接続することができます。
	3.5mm 端子のアナログマイクを接続することができます。

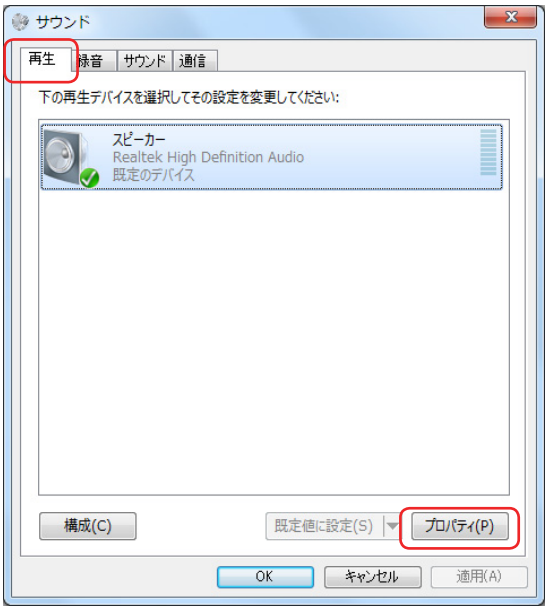
オーディオ出力設定を行う

スピーカーシステムを本機に接続した後、下の手順に従ってスピーカーの設定を行います。

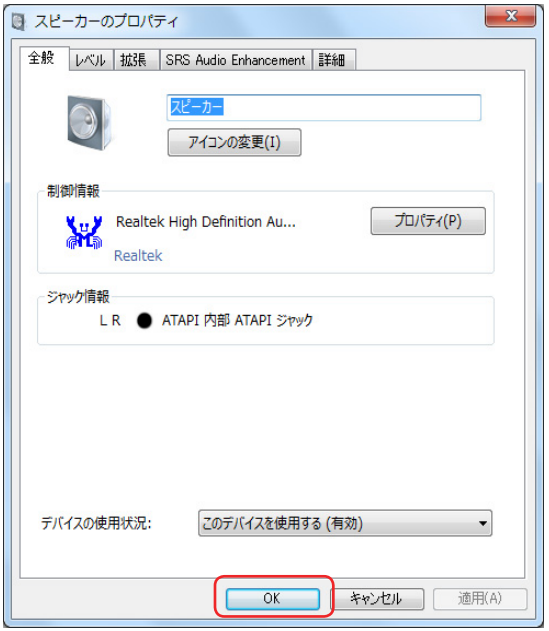
1. タスクバーの通知領域のスピーカーアイコンを右クリックし、「**再生デバイス**」をクリックします。



2. 再生デバイスを選択し、「**プロパティ**」をクリックします。



3. 各種レベル調節や出力レート等の調整をお好みに合わせ設定・調整します。終了したら「**OK**」をクリックします。



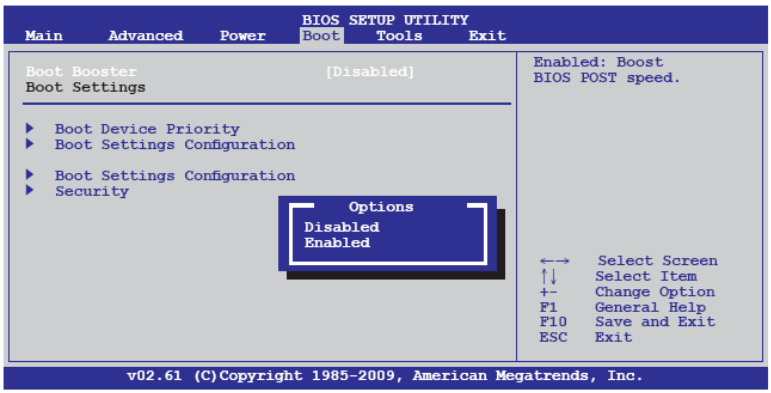
システムをリカバリーする

サポートDVDを使用する

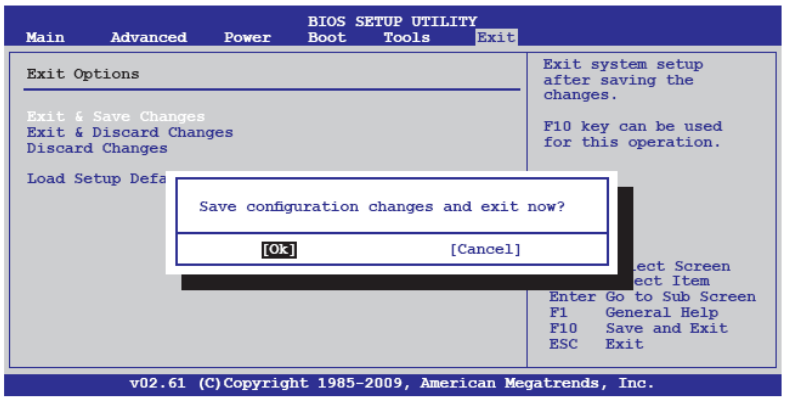
サポートDVDには、工場出荷時にコンピュータにインストールされた OS イメージ及び 各ドライバ、各ユーティリティ等が保存されています。サポートDVDは優れたリカバリーソリューションで、ハードディスクドライブが正常に動作していればノートパソコンのソフトウェアを本来の動作状態に復元します。この機能を使用する前には必ずデータファイル（Outlook PSTファイル等）をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定（ネットワーク設定等）もバックアップしてください。

1. システムを起動し、起動時に **<F2>** を押してPOST画面を表示させます。**<F2>** を再び押してBIOS Setup プログラムに入ります。
2. **Boot Booster** を [Disabled] に設定します。

上記の操作を実行してもPOST画面が表示されない場合、またはBIOS Setup が起動しない場合は、システムを再起動し、起動時に<F2>を繰り返し押してください。



3. **<F10>** を押して設定を保存し、本機を再起動します。



4. EeeTop ロゴが表示されたら、**< Esc >** を押して「**Please select boot device**」メニューを開きます。
5. サポートDVDを光学ドライブに入れ、光学ドライブ (“DVDROM: XXX”) を起動デバイスに設定します。続いて **<Enter>** を押し、「**Please any key to boot from cd**」が表示されたら、任意キーを押してリカバリーを続行します。
6. 「**ASUS Support DVD**」ウィンドウが表示されたら、新しいシステムをインストールする場所を選択します (最低 20GBの空き容量が必要)。
選択オプションは以下の 2 つです。

   Recover system to a partition

   選択したパーティションのみをリカバリーし、他のパーティションはそのままで、新しいシステムパーティション;ドライブ「C」を作成します。リカバリーするパーティションを選択し「**NEXT**」をクリックします。

   Recover system to entire HD

   ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション;ドライブ「C」を作成します。このオプションを選択した場合は「**Yes**」をクリックしリカバリーを実行します。

「**Recovery system to entire HD**」を選択した場合、リカバリーパーティション (隠しパーティション) は削除されます。通常リカバリーを行う場合は「**Recovery system to a partition**」を選択して下さい。削除してしまったリカバリーパーティションの復旧は有料オプションとなります。

7. その後は画面上の指示に沿って、リカバリーを実行します。

システムリカバリーを実行すると、ユーザーのデータは全て消去されます。システムリカバリーの前は、必ずデータのバックアップを行ってください。

8. システムリカバリーが完了したら、コンピュータを再起動します。
9. 言語、タイムゾーン、キーボード、コンピュータ名、ユーザー名を設定し、Windows® OSを起動します。

- このサポートDVDは本機専用です。他のコンピュータには使用しないでください。アップデートについては、ASUSのWeb サイト (http://www.asus.co.jp) をご覧ください。
- システムリカバリーの後は、Boot Booster を有効にしてください。

隠しパーティションを使用する

リカバリーパーティションには工場出荷時にコンピュータにインストールされたOSイメージ及び各ドライバ、各ユーティリティ等が保存されています。リカバリーパーティションは優れたリカバリーソリューションで、ハードディスクドライブが正常に動作していればノートパソコンのソフトウェアを本来の動作状態に復元します。この機能を使用する前には必ずデータファイル（Outlook PST ファイルなど）をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定（ネットワーク設定等）もバックアップしてください。

1. コンピュータを起動します。
2. EeeTop ロゴが表示されたら、**<F9>** キーを押します（リカバリーパーティションが必要です）。
3. Windows Boot Manager画面が表示されたら、<Enter>キーを押します。
4. 「**ASUS Recovery CD/DVD** 」ウィンドウが表示されたら、「**Recover system to a partition**」を選択します。
5. その後は画面上の指示に沿って、リカバリーを実行してください。

システムリカバリーを実行すると、ユーザーのデータは全て消去されます。システムリカバリーの前は、必ずデータのバックアップを行ってください。

6. リカバリーが完了したら、システムを再起動します。
7. 言語、タイムゾーン、キーボード、コンピュータ名、ユーザー名を設定し、Windows® OSを起動します。

システムリカバリー時の「ASUS Recovery CD/DVD」ウインドウは、タッチパネルに対応しておりません。操作にはマウスをご利用ください。

起動中にESCキーや <F9> キーを押しても画面が切り替わらず、OSが起動してしまう場合は、ページ37と同じように以下のBIOS設定を変更して再度お試しください。

1. 電源起動時に**＜F2＞**キーを押します。
2. 「**BIOS SETUP UTILITY**」の画面が表示されたら、キーボードを使用し「**Boot**」へ移動します。
3. 「**Boot**」内項目の「**Boot Booster**」で＜**Enter**＞キーを押します。
4. 「**Options**」ウィンドウが表示されたら、項目を「**Disabled**」へ変更し＜**Enter**＞キーを押します。
5. ＜**F10**＞キーを押すと、設定を保存するか確認するウィンドウが表示されます。
6. [**Ok**]にカーソルを合わせ＜**Enter**＞キーを押します。

※リカバリー後は再度「**Boot Booster**」の設定を「**Enabled**」に設定することをお勧めします。